

# 目次

はじめに

1. 研究の背景	1
2. 研究の概要	7
(1) 研究目的	7
(2) 研究方法	7
(3) 研究体制	8
(4) 研究計画	10
3. 早期からの切れ目ない支援体制構築の重要性	12
(1) 聴覚障害を早期に発見し早期から支援を行うことの重要性	12
(2) 我が国における聴覚障害の早期発見体制	15
(3) 我が国における聴覚障害発見後の支援体制	19
(4) 問題の所在(聴覚障害発見後の支援体制)	23
4. 聾学校における乳幼児教育相談の現状と課題	25
(1) 定期的に乳幼児教育相談に通っている乳幼児の現状	25
(2) 乳幼児教育相談が行っている機関連携の状況	28
(3) 考察(乳幼児教育相談における機関連携の状況等)	35
5. 切れ目ない支援体制が構築されている地域の取組	37
(1) A県における支援体制	37
(2) B県における支援体制	41
(3) C県における支援体制	45
(4) D県における支援体制	48
(5) 考察(四つの地域の支援体制から示されたこと)	52
6. 乳幼児教育相談から見た支援体制	54
(1) 聴覚障害発見後の支援体制例	54
(2) 四つの自治体における支援体制構築に関わる共通事項	60
(3) 考察(乳幼児教育相談の役割)	61

7. 総合考察	64
(1)乳幼児教育相談が地域で果たす役割	64
(2)「協議会」を活用した支援体制の評価・検討の必要性	65
(3)乳幼児教育相談が地域から求められている役割を十分発揮する ために	69
(4)切れ目ない支援体制の構築・充実に向けて	72
8. 資料	75

おわりに